

授業科目名	体育あそび演習		担当教員名	安井 嘉佑
科目区分	教職・保育に関する科目		施行規則に定める科目区分 等	大学が独自に設定する科目-保育の内容・方法に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 1単位 (30時間)		授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	1年 後期 (3-4期) / 年間開講数 1講座		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 ジュニアスポーツクラブ指導者としての実務実績を活かして、現場での指導経験を生かした授業を行う。
授業の概要及び全体目標	保育時間に行われる体育指導の実施及びねらいを十分に理解し、スムーズな授業を行うために必要な技術を習得し、実践でできるよう身につける。			
到達目標	各年齢に応じた運動遊び(ボール・フラフープ・マット・跳び箱・サーキット・ごっこ遊びなど)を紹介し、実践する。 (1)コミュニケーション能力の習得として、どのような言葉かけを選択するかや、コミュニケーション次第で面白いまたは楽しい時間に変えることができる。 (2)技術の理解として、なぜこの動作をしなければならないのか。また、この動作を習得するためにはどのような動作が必要なのかについて熟知する必要がある。 (3)技術の習得として、どのように指導することで習得進度が上がるのかや、段階指導の段階を理解し適した場所や適した内容を提示できるように技術の習得を身につける。 (4)指導法の理解としては、上記の内容を含めて全体を習得するための指導法を身につけることを行う。			
テキスト	なし			
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)			
成績評価の方法	授業参加態度等…10%、平常点…20%、理解度チェック等…20%、実技チェック…50%			
授業外(事前・事後)学習の方法、オフィスアワー等				
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	・授業内容説明 ・子どもにおける運動、スポーツの意義・価値について			(1),(2),(3),(4),(5)
第2回	・子どもを取り巻く環境、体力の現状と課題について ・指導案の見方。			(1)
第3回	・子どもの身体活動ガイドラインについて ・基礎運動 導入の目的及び指導 導入指導の指導法 (模倣・フープ等含む)			(1),(2),(3)
第4回	基礎運動 年齢別における指導法 (マット運動、前転・後転)			(1)(2)(3)(4)
第5回	・子どものスポーツ指導における現状と課題について ・基礎運動 年齢別における指導法 (跳び箱、開脚跳び)			(1),(2),(3),(4)
第6回	・基礎運動 年齢別における指導法 (鉄棒 前回り) (ボール運動、とる・転がす・投げる)			(1),(2),(3),(4)
第7回	・からだの発育・発達について ・応用運動 年齢別における指導法 (マット運動、開脚前転・開脚後転)			(1),(2),(3),(4)
第8回	・運動能力の発育と発達について ・応用運動 年齢別における指導法 (跳び箱、台上前転)			(1),(2),(3),(4)
第9回	・体力の測定と評価について ・応用運動 年齢別における指導法 (鉄棒、逆上がり ボール運動、つく・うつる・蹴る)			(1),(2),(3),(4)
第10回	・発達段階に応じた運動遊びの展開例 ・基礎運動 マット運動の指導と指導法 (授業構成の組み方) 指導案を含む)			(1),(2),(3),(4)
第11回	・運動遊びとスポーツ指導について ・基礎運動 跳び箱の開脚跳び指導と指導法 (授業構成の組み方) 指導案を含む)			(2),(3),(4)
第12回	・アイスブレーキングについて ・基礎運動 鉄棒の前回りと逆上がりの指導と指導法 (授業構成の組み方) 指導案を含む)			(2),(3),(4)
第13回	・運動遊びのアレンジについて ・模擬授業を行うための指導案作成による説明			(1),(2)
第14回	・年齢体力に応じた指導 ・模擬授業を行うための指導案の作成			(1),(2)
第15回	模擬授業を行うための指導案の完成 提出			(1),(2)